

# JF日本語教育 スタンダード

JF Standard for Japanese-Language Education

JF日本語教育  
スタンダードって  
何ですか？

よし、じゃあ一緒に  
見てみよう！



# JF日本語教育スタンダードは「相互理解のための日本語」を理念としています



現在、私たちは国や地域を超えて人々が盛んに交流するグローバル社会に生きています。  
このような社会で大切なのは、人間同士の相互理解です。  
言語によるコミュニケーションを通じて相互理解を深めていくためには、次の2つの能力が必要です。

- 課題遂行能力: 言語を使って具体的な課題を達成する能力
- 異文化理解能力: お互いの文化を理解し尊重する能力

これらの能力の育成を目指し、JF日本語教育スタンダード(JFスタンダード)は、世界中の教育現場での実践に役立つように開発されました。



人と理解しあうためには、  
ことばも文化も両方大切  
なんですわね。



その通り!

留学生: エリン

エリンの先生: ホニゴン

「エリンが挑戦! にほんごできます。」 <http://www.erin.ne.jp/>




# JFスタンダードは Can-doでレベルを示します

JFスタンダードでは、どのような文法を知っているか、単語や漢字をいくつ知っているかではなく、「日本語を使って何ができるか」という課題遂行能力をレベルの指標にしています。

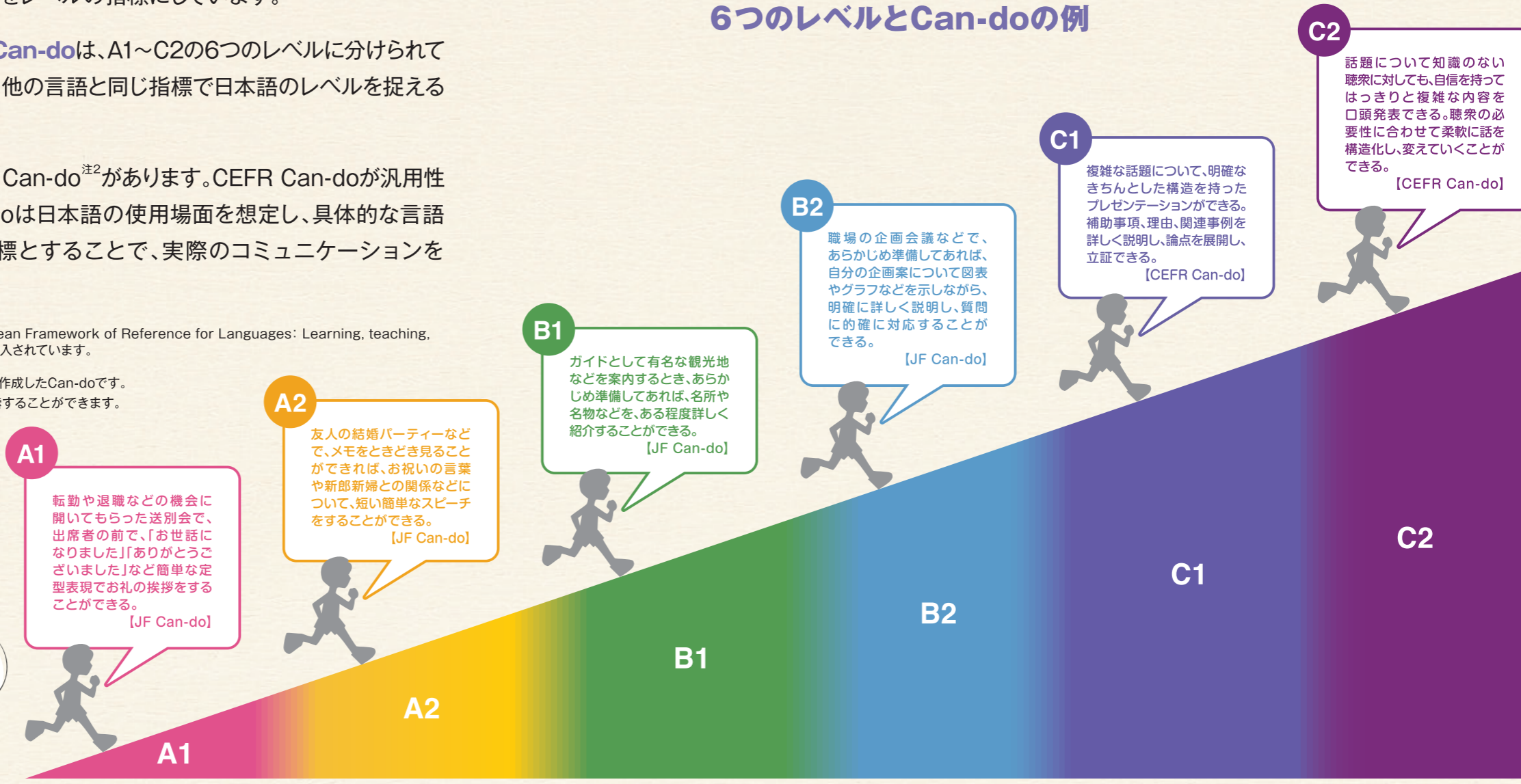
この課題遂行能力を「～できる」という文で記述したCan-doは、A1～C2の6つのレベルに分けられており、この6レベルはCEFR<sup>注1</sup>と共通です。そのため、他の言語と同じ指標で日本語のレベルを捉えることができます。

JFスタンダードのCan-doにはCEFR Can-doとJF Can-do<sup>注2</sup>があります。CEFR Can-doが汎用性の高い抽象的な記述であるのに対して、JF Can-doは日本語の使用場面を想定し、具体的な言語活動を例示するものです。このCan-doを学習目標とすることで、実際のコミュニケーションを目指した学習を設計することができます。

注1 欧州評議会が2001年に発表した「ヨーロッパ言語共通参照枠(Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment)」の略。世界の言語教育・学習の場で共有される枠組みとして広く導入されています。

注2 CEFR Can-doはCEFRが提供するCan-doです。JF Can-doは国際交流基金が作成したCan-doです。どちらのCan-doも  <http://jfstandard.jp/cando/> で検索することができます。

## 6つのレベルとCan-doの例



基礎段階の言語使用者 Basic User	自立した言語使用者 Independent User	熟達した言語使用者 Proficient User
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。</li> <li>● 自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。</li> <li>● もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。</li> <li>● ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接の関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。</li> <li>● 簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。</li> <li>● 自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。</li> <li>● その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいいてい事態に対処することができる。</li> <li>● 身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べるることができる。</li> <li>● 自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑なテキストの主要な内容を理解できる。</li> <li>● お互いに緊張しないで母語話者としてやり取りができるくらい流暢かつ自然である。</li> <li>● かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細なテキストを作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いろいろな種類の高度な内容のかなり長いテキストを理解することができ、含意を把握できる。</li> <li>● 言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。</li> <li>● 社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。</li> <li>● 複雑な話題について明確で、しっかりと構成の、詳細なテキストを作ることができる。その際テキストを構成する単語や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。</li> <li>● 聞いたり、読んだりしたほぼ全てのものを容易に理解することができる。</li> <li>● いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構成できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができ、非常に複雑な状況でも細かい意味の違い、区別を表現できる。</li> </ul>

CEFR共通参照レベル: 全体的な尺度



# JFスタンダードの木は コミュニケーションに必要な力を表します

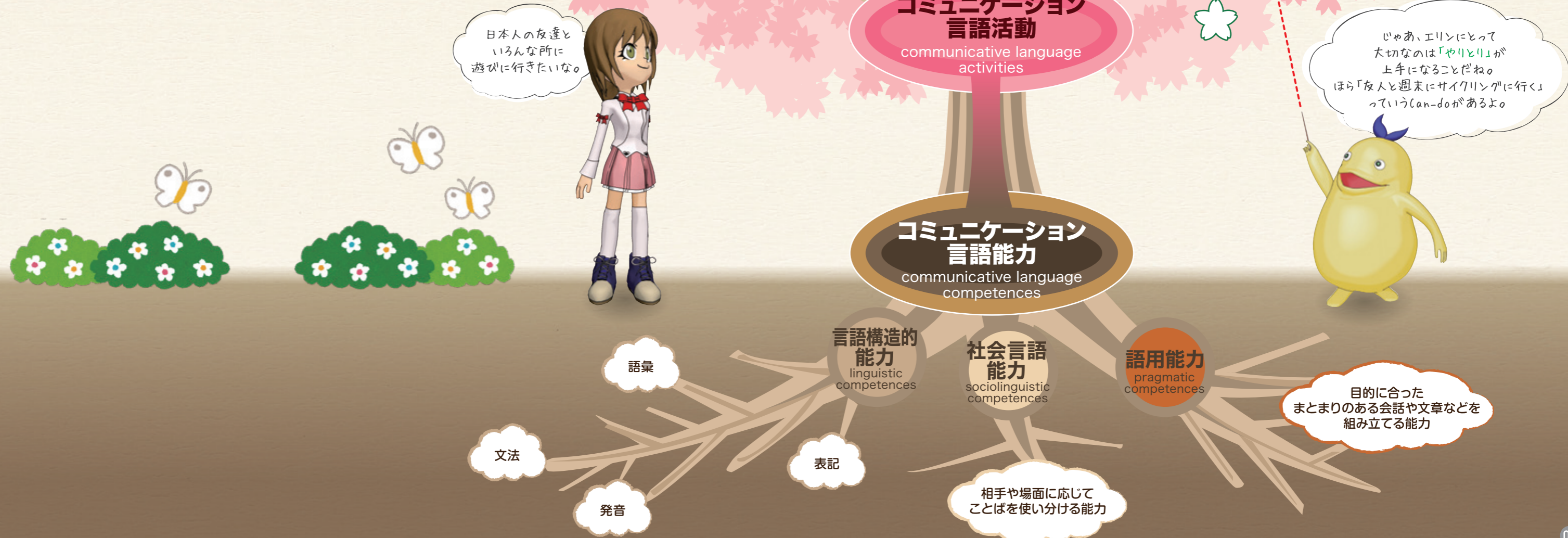
JFスタンダードは、言語によるコミュニケーションの力を1本の木に整理しています。

枝を広げ、花を咲かせている部分は、具体的な**コミュニケーション言語活動**を表し、**受容**、**産出**、**やりとり**の3つに分けられます。

このコミュニケーション言語活動を例示したものが、**Can-do** (花の部分)です。

根の部分は、文字、語彙、文法など日本語に関する知識にあたる**コミュニケーション言語能力**を表し、コミュニケーション言語活動を支えています。

JFスタンダードの木を見れば、学習目標とするコミュニケーション言語活動は何か、それを支えるコミュニケーション言語能力は何か、を明確にすることができます。





# 『まるごと 日本のことばと文化』は JFスタンダードをもとにした日本語 学習のかたちです

『まるごと 日本のことばと文化』は、課題遂行能力と異文化理解能力の育成を通して、世界中の人々との 相互理解に貢献できる日本語学習を目指しています。

JF日本語教育スタンダードに  
準拠した成人学習者向け  
コースブックです

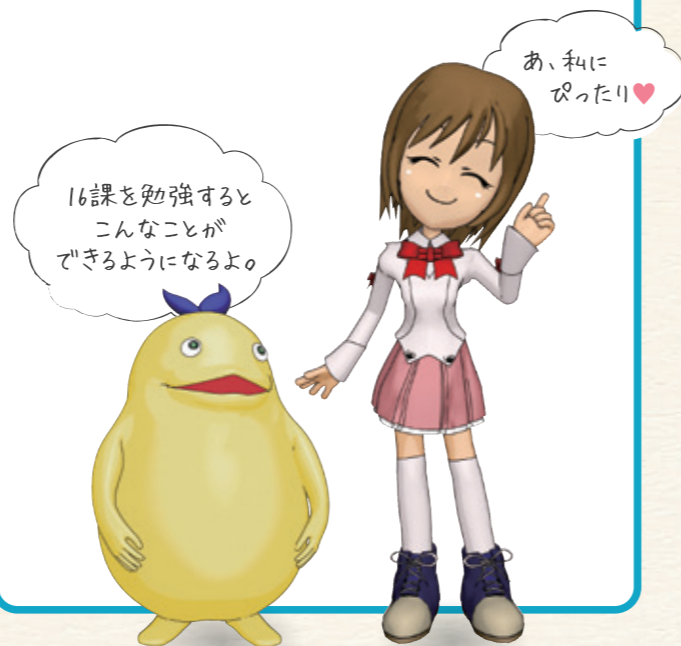


学習目標は  
Can-doで示されています



Can-do

友人と一緒に買い物をしているとき、「かわいい」「ほしいな」など、短い簡単な言葉で感想を言うことができる。



異文化理解を重視しています



ことばと文化を合わせて学ぶことができます。  
日本のことだけではなく、自分自身の文化についても  
ふりかえって考えることができます。

ポートフォリオを使って  
自分の学習を管理します



ポートフォリオには自己評価チェックリスト、授業や文化体験についての感想、作文やスピーチの録音などを入れます。ポートフォリオを自分で管理することで、自律的な学習態度を養うことができます。また、ポートフォリオを見せることで教師やクラスメート、家族などと自分の学習プロセスや成果を共有することができます。



# 国際交流基金はJF日本語教育スタンダードを軸に 海外の日本語教育のためにさまざまな事業を展開しています

## 『まるごと 日本のことばと文化』

『まるごと 日本のことばと文化』は、JF日本語教育スタンダードに準拠したコースブックです。



<http://marugoto.org/>

## 教材開発

コースブック  
学習用ウェブサイト

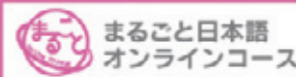
## 「まるごと+」

「まるごと+」は、コースブックの内容に沿って、日本語とその背景の文化が学べるサイトです。

<http://marugotoweb.jp/>

## 「まるごと日本語オンラインコース」

日本語学習プラットフォーム **eみなど** で開講されている総合的な日本語を身につけるためのコースです。



<https://www.marugoto-online.jp>

# JF日本語教育スタンダード

は 課題遂行能力・異文化理解 能力の育成を支援します



## みんなの Can-do サイト

<http://jfstandard.jp/cando/>

みんなのCan-doサイトは、Can-doのデータベースです。コースデザイン、授業設計、教材開発などCan-doを使った日本語教育実践をサポートします。

## JF日本語教育スタンダード準拠 ロールプレイテスト

口頭でのやりとり能力が測れるテストです。教師が現場に合わせて使えます。



<http://jfstandard.jp/roleplay/ja/render.do>

## 評価

テスト作成  
評価手法開発

## 教師研修

海外で日本語を教える教師を対象に、JF日本語教育スタンダードにもとづいた研修を行っています。



## 教育実践

コース デザイン  
カリキュラム開発

## JF講座

JF講座は、JF日本語教育スタンダードに準拠した日本語講座です。



JF講座開設地(2016年4月現在28か国31講座)



# JF日本語教育スタンダード 関連サイト

JF日本語教育スタンダード

<http://jfstandard.jp/>

JF日本語教育スタンダードについての紹介サイトです。

みんなの「Can-do」サイト

<http://jfstandard.jp/cando/>

みんなの「Can-do」サイトは、日本語の熟達度を「~できる」という形式で示したCan-doのデータベースです。

まるごと 日本のことばと文化

<http://marugoto.org/>

JF日本語教育スタンダードにもとづいて開発された日本語教科書『まるごと 日本のことばと文化』を紹介しています。

---

JAPAN FOUNDATION  国際交流基金  
<http://www.jpf.go.jp/>

国際交流基金 日本語国際センター  
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-36  
<http://www.jpf.go.jp/j/urawa>

国際交流基金は、海外での日本語教育の推進を通じて、国際相互理解に貢献しています。